

# 令和3年度事業計画（案）

中国情報通信懇談会は、ICTを活用した最先端技術や政策動向などの情報提供のほか、地方公共団体と会員企業との意見交換の場の提供など、中国地域のICTの普及やICTを活用した地域経済の活性化に資する重要な任務・役割を担ってきました。

令和3年度においては、少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい日常への対応など、中国地域における様々な地域・社会課題の克服に向け、更なるICT利活用の浸透によるデジタルトランスフォーメーション（DX）を進め、人々の生活をあらゆる面で、よりよい方向に変化させられることを目的に、以下の事業を行います。

## 1 中国情報通信懇談会第36回総会

日 時 令和3年5月26日（水）

開催方法 Web会議システムを用いたオンライン開催

## 2 会員に対する情報提供

### (1) ホームページの活用等

懇談会主催の各種イベントの開催案内や開催報告等について、ホームページ等に掲載し、情報発信に努めます。

### (2) メールマガジン「C-LINE」の発行

会員向けメールマガジン「C-LINE」は、懇談会主催の講演会・セミナーや会員からの情報提供、情報通信に関する最新の政策動向等を掲載し、電子メールによりタイムリーな情報提供に努めます。

## 3 普及・啓発活動

### (1) 懇談会事業

以下のとおり、重点的かつ部会横断的に取り組むテーマを選定し、懇談会事業として取り組むこととします。

#### ① デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

中国地域では、ICTなどデジタル技術を活用した変革の必要性は認識しつつも、どのようにして取り組むべきかについて模索する地方公共団体、企業、団体等が多く見受けられます。

そこで、中国地域の国の地方支分部局、大学等と連携し、先行事例の共有やDX導入により解決が期待できる地域課題の洗い出し、具体的な解決案の提案、支援事業等の紹介、先進事例の共有等を通じ、確実かつ着実に後押しすることとします。

併せて、新たな日常に寄与するローカル5G・AI・IoT等デジタル技術等を担う人材が重要になってくることから、そうした人材を地域で育成する取組についても、産学官が一体

となって支援し、中国地域全体でのデジタルリテラシーの底上げに取り組むこととします。

## ② ICT/IoT を活用した防災・減災の取組

九州地方を中心に記録的な大雨となった令和2年7月豪雨や台風第10号など昨年も大規模な自然災害が各地で発生しました。今後も南海トラフ地震など大地震の発生や地球温暖化に伴う気候変動がもたらす集中豪雨等、自然災害の激甚化が懸念されています。

災害における混乱を未然に防止し、被害を最小限にするためには、迅速かつ正確な情報の収集・伝達と避難行動に向けて当事者意識の向上を図ることが重要であり、そのツールとして、ICT/IoT に大きな期待が寄せられています。

これらの課題解決のため、ICT/IoT を利活用した取組の先進事例を紹介するなど、ICT/IoT の有効活用により防災・減災につなげることを目的としたセミナーを開催します。

## ③ サイバーセキュリティ対策

コロナ禍により、これまで未導入だった地方公共団体や中小企業等においてもテレワークの導入の検討が進む一方で、単独で有効なサイバーセキュリティ対策がとれない、人材の確保が難しいなどの課題があり普及が進みにくい状況があるため、総務省、研究機関、民間企業等の専門家を招き、サイバーセキュリティに関する最新動向やニューノーマル時代におけるサイバーセキュリティ対策の在り方などをテーマとする講演やインシデント演習などを内容とするセミナーを開催します。

## ④ オープンデータの推進

地方公共団体のオープンデータへの取組みを加速化し、中国地域のオープンデータの一層の利活用推進を図るために「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」を設け、令和元年度から、中国地域の課題を整理し、その課題を解決するためのデータ利活用の方向性等を議論してまいりました。一方で、管内では令和2年9月現在、約4割の地方公共団体がオープンデータを公表していません。また、内閣官房 IT 戦略室が実施したアンケートでは、課題として、人的リソースの不足、オープンデータ化の効果・メリット・ニーズが不明確との回答に加え、公表されている国や地方公共団体のデータでは、形式のばらつき等が指摘されています。本事業では、引き続き、中国地域でのオープンデータ化を一層加速させる取組みを行います。

## (2) 支援事業等

地域情報化の推進及び地域活性化に寄与すると認められる活動に対して支援を行うとともに、情報通信月間行事への積極的な参加を促進します。

## 4 部会活動

### (1) 地域情報化・コンテンツ部会

自治体デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進計画に基づく取組などを支援するため、地方公共団体を対象とした人材育成のための出前講座やセミナーの開催、ICT/IoT の導入により生産性の向上や業務の効率化に有効なソリューションの紹介、コンテンツ流通促進のため放送コンテンツの海外展開を促進するセミナーなどを開催します。

## (2) 電波利用促進部会

地域の課題解決に資する電波の利活用をテーマとした講演会を実施するなど、懇談会事業と連携し、電波利用システムの普及促進を図ります。

今年度も、携帯電話事業者による「全国5G」及び地域課題解決を実現するための「ローカル5G」について、各地で実施されている実証試験の状況や最新動向をテーマとし、電波利活用促進と地域課題の解決に繋がるセミナーを開催することとします。

また、電波を利活用することによって、防災・減災につながるセミナーを開催し、防災意識の高揚を図るほか、地域での電波利用システムの普及促進につながるセミナーを開催します。

## (3) 放送部会

中国地域における放送の普及・発展に寄与するため、懇談会会員のほか、放送関係者及び一般の方を対象として、セミナー等を開催します。

4K8K、放送番組のネット配信、視聴データの活用などの最新動向を紹介するとともに、ローカル放送局の先進的な取り組みや優良事例の紹介を行い、横展開の促進を図ります。

## (4) 電波の日・情報通信月間推進部会

電波の日・情報通信月間の意義等について、広報活動を通じて広く国民に周知します。

また、令和3年度電波の日・情報通信月間及び中国情報通信懇談会第36回総会の記念講演会を開催します。内容としては、以下のとおり地域における電子カルテシステムをいち早く構築するなど診療情報のICT化に取り組み、長年にわたってデータ分析に基づく医療を牽引されている京都医療センターの北岡有喜先生を講師にお招きし、講演していただきます。

### 【講演会】

日 時 令和3年6月1日(火) 午後3時

開催方法 Web会議システムを用いたオンライン開催

演 題 : With COVID-19 / Post COVID-19時代のDXと情報管理

講 師 : 独立行政法人国立病院機構京都医療センター

医療情報部長 北岡 有喜 氏

## 5 組織運営等

### (1) 顧問等会議

会則第8条の2の規定に基づき、最新の政策動向や会員のニーズを事業計画案の策定に反映させるため、顧問等会議を年1回開催します。

顧問等会議の開催に先立ち、会員のニーズ把握のため、電子メール等を活用し、アンケート調査を実施します。

### (2) 運営委員会

会則第11条の規定に基づき、事業の具体化等必要な検討等を行うため、運営委員会を年間2回程度開催します。

### (3) 新規会員の獲得

当懇談会の一層の発展を図るため、地方公共団体及び民間企業等の加入に向けた働きか

け等を通じ、新規会員の獲得に努めます。

#### (4) その他

普及・啓発活動及び部会活動のセミナー等を行う場合は、開催主旨や効果を踏まえたうえで、開催地が特定の地域に偏在しないよう努めます。

### 6 その他

#### (1) 表彰について

懇談会事業や地域の ICT の推進に貢献が認められた団体等を対象に、その功績をたたえて表彰を行います。

#### (2) Web 会議システム活用

会議やセミナーなどの実施にあたっては、社会情勢などを踏まえ、Web 会議システムなどを有効に活用します。

# 令和3年度予算（案）

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

## 収 入

項 目	予算額	前年度予算額	参 考 (予算額-前年 度予算額)	備 考
会 費	5,860,000	5,880,000	-20,000	2万円×293口
寄付金	0	0	0	
援助金	115,000	115,000	0	情報通信月間推進行事援助金
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息
繰越金	5,879,406	3,601,472	2,277,934	
合 計	11,855,406	9,597,472	2,257,934	

支 出

項 目		予算額	前年度 予算額	参考 (予算額-前年度 予算額)	備考
会 議 費		1,150,000	1,150,000	0	
	総会	700,000	700,000	0	
	運営委員会	150,000	150,000	0	
	顧問等会議	100,000	100,000	0	
	その他	200,000	200,000	0	
事 業 費		6,490,000	4,720,000	1,770,000	
懇談会事業					
	デジタルトランスフォーメーションの推進	1,060,000	0	1,060,000	セミナー3回、イベント1件 昨年度までは「地域IoT実装 推進」事業
	ICT/IoT を活用した防災・減災 の取組	1,060,000	500,000	560,000	セミナー2回
	サイバーセキュリティ対策	1,060,000	400,000	660,000	セミナー2回
	データ利活用の推進	530,000	300,000	230,000	オープンデータ普及促進 (会場およびオンライン)
部会活動					
地域 情報 化	デジタルガバメントの 推進	600,000	0	600,000	研修会、セミナー1回 (オンライン) 昨年度までは、「地域におけ る人材育成」「地域情報化促 進セミナー」として実施
	ICT/IoT 関連施設視察	200,000	200,000	0	視察・施設見学または オンラインセミナー
	コンテンツの流通促進	200,000	200,000	0	セミナー1回
電波 利用	電波利活用をテーマとし たセミナー	780,000	570,000	210,000	セミナー3回 (オンライン)
放 送	放送分野における優良事 例の横展開促進等	500,000	750,000	-250,000	セミナー2回 (オンライン併用) 講演会1回 (オンライン)

電波の日	記念式典の開催、周知広報活動の展開	0	350,000	-350,000	
	記念講演会	500,000	150,000	350,000	オンライン開催予定
支援事業		910,000	910,000	0	会員主催のセミナー等 (年度会費収入の15%)
ホームページ		550,000	550,000	0	
資料費		0	0	0	
事務局		1,830,000	1,530,000	300,000	
	通信費	670,000	670,000	0	
	支払手数料	30,000	30,000	0	
	備品・消耗品	625,000	325,000	300,000	Web 会議システム用 PC
	人件費	480,000	480,000	0	
	その他	25,000	25,000	0	
予備費		925,248	737,472	187,776	
合 計		11,855,248	9,597,472	2,257,776	

※ セミナーの開催経費の概算（会場借上げの場合）

会場借料及びweb 会議運営：450,000 円

会場借料のみ：100,000 円

司会料:20,000 円、

講師謝金:30,000 円（1 名分）

## 令和3年度役員（案）

（敬称略）

会 長	荻田 知英	一般社団法人中国経済連合会 会長	再 任
副 会 長	真鍋 和彦	日本海テレビジョン放送株式会社 代表取締役会長	再 任
運営委員長	相原 玲二	広島大学 副学長（情報・IR 担当）教授	再 任
監 事	西村 宜三	ネットワンシステムズ株式会社 西日本事業本部 第2営業部 エキスパート	新 任
監 事	内田 喜久雄	一般社団法人中国自動車無線協会 専務理事	新 任